

春日市
地域活動
指導員だより

No.122

2023.9月号

らいん

地域の未来へつなぐ活動情報紙

みんなで春をつくろう

発行：春日市教育委員会

地域教育課地域教育担当

TEL 092-981-0101

FAX 092-584-1153

地域で子どもを育てる活動情報をお寄せください（イベント予告可）。
地域活動指導員が取材に伺います。

特集★地区夏祭りでの子どもたち



この夏、久しぶりの夏祭りが各地区で賑やかに開催されました！かき氷、綿菓子、くじ引き、ラムネ早飲み競争…！どの地区も、小学生・中学生・高校生・大人が協力してお祭りを盛り上げていました。



小学生の頃から毎年桜ヶ丘のお祭りを楽しみにしています！（桜ヶ丘地区 中学生）



桜ヶ丘地区



司会をさせてもらって
うれしいです！
（大土居地区 中学生）

司会は中学生がバッチリしてくれそうです！！
（大土居地区 自治会長）



大土居地区

▲ 中学生ボランティア

友達も巻き込んで祭りを盛り上げます！
（現役高校生の自治会役員）

弥生地区



子ども会でお手伝いに参加しました！
初めての経験でワクワクします！
（弥生地区 小学生）

小倉東地区

◀4年ぶりに再開された名物のスイカ割り



えい！

地域の輪(和)、人と人の輪(和)をつなぐという意味を込めて名づけた「地域活動指導員だより『らいん』」。市内各地区の活動を地域活動指導員が取材し、発信します。

市ウェブサイト「らいん」掲載ページ →



エックス X (旧ツイッター)にも

掲載中→



春日中校区

春日小学校アンビシャス広場

昇町子ども将棋クラブ



毎月第2土曜日に昇町公民館で開催されている「子ども将棋クラブ」は、今年で19年目。低学年から高学年まで、楽しみながら将棋を体験することができます。

将棋を指導しているのは、日本将棋連盟指導員の尾前さん。初心者は駒の動かし方や戦法など、将棋の基本的なルールを学び、上級者は昇段試験合格を目指して、練習対局で腕を磨いています。この日は、近く開催される大会に向けて、大会のマナーやルールを確認しながら、本番さながらに対局していました。

「将棋は足し算、引き算を考えながら手を打つゲーム。計算に強くなるんですよ」と尾前さん。レベルアップを目指して対局する子どもたちの表情は、真剣そのものでした。



▲指導者の尾前さん



▲対局する子どもたち

東中校区

谷っ子アンビシャス広場

バルーンアート



大谷小学校谷っ子ホールで、毎週火曜日に「自由あそび」を開催している谷っ子アンビシャス広場。普段はバドミントンやダーツなどで遊んでいますが、6月13日はイベントとして「バルーンアート」が行われました。

講師の小原田さんが、細長いバルーンを犬、きりん、髪飾りなどに次々と変身させていく様子に、子どもたちは歓声をあげていました。

その後は地域のボランティアの皆さんに習いながら、子どもたちも制作に挑戦！特に男子には「剣」が人気で、出来上がると早速チャンバラごっこで盛り上がっていました。

子どもたちは「割れた！」「難しい！」「おもしろい！」と、目を輝かせながら、時間いっぱい制作し、大にぎわいのイベントになりました。



西中校区

春日西アンビシャス広場

子供英会話教室



下白水北公民館で毎月第2・4土曜日に開催されているアンビシャス広場「子供英会話教室」。今年5月から始まった教室には1年生～6年生の小学生5名が参加しています。

指導に当たっているのは、日本の神社仏閣が大好きなアメリカ出身のジェイク先生。英語を教えるのは初めての経験だそうです、「勉強が嫌いな気持ちは自分もよくわかる」と、学校で習うような英語の勉強ではなく、普段使いの英会話と発音を中心に進めています。

「みんなには、英語に興味をもってほしい。外国人は優しいから、自信をもって英語を話してみしてほしい」とジェイク先生。子どもたちが理解できるように、一緒に考えながら指導する姿が印象的でした。



▲講師のジェイク先生



▼教室の様子

南中校区

塚原台アンビシャス広場

戦争体験のお話と公民館シアター



8月2日(水)、塚原台公民館でアンビシャス広場のイベント「公民館シアター」が開催されました。戦争アニメ映画「いわたくんちのおばあちゃん」とお楽しみ映画の上映のほか、戦争体験のお話などがありました。

同地区にお住まいの元木さんは、今年93才。小学3年生～中学1年生の時に戦争を体験しました。福岡大空襲で、焼夷弾が燃えながら落ちてきて消火訓練が役に立たなかったことや、食料不足で運動場が芋畑になったこと、教科書も書く物もなく、下着すら手に入らなかったことなどの体験談に子どもたちは聞き入っていました。「何もないということは寂しいというより苦しいことだ。今は給食もあって健やか。子どもたちには一生懸命勉強してほしい」と元木さん。参加した3年生児童は、「大刀洗や広島の話は知っていたけど、まだ分かっていなかった。住んでいる街のことを知れてよかった」と感想を話しました。



▲体験談を語る元木さん



▲真剣な表情で話を聞く子どもたち

野中校区

春日野アンビシャス広場

お話し会



3年ぶりに再開された春日公園公民館の「お話し会」。地域のボランティアの方が本の読み聞かせをしています。この日は、絵本「かえるじゃん」のほか、しかけ絵本、エプロンシアター、大型絵本、紙芝居と盛りだくさんの内容でした。読み聞かせが始まると、子どもたちはじっと耳を澄ましてお話の世界に引き込まれていました。

読み聞かせの後は、お楽しみの工作です。毎回、季節に合わせた内容の工作が準備されます。この日は七夕飾り。子どもたちは思い思いに短冊に願いごとを書いて笹に飾りました。

「お話し会」は、毎月第4月曜日の午後4時から開催しています。月に一度、お話しの世界を楽しみませんか。親子での参加も大歓迎です。



▲大型絵本



▲エプロンシアター

北中校区

日の出アンビシャス広場

彩りクラブ「勾玉」作り



日の出アンビシャス広場では、今年度から新しい活動「彩りクラブ」が始まりました。年9回、工作やパン作りなど、様々な活動を行います。

6月20日は、奴国の丘歴史資料館職員指導による「勾玉作り」でした。まず、白い四角い石を、やすりで勾玉の形に削っていきます。根気のいる作業でしたが、子どもたちは時々友達と見せ合いながら、集中して作業していました。勾玉の形になったら、水で濡らしたやすりで磨いていきます。自分の手の中でピカピカになっていく勾玉に、子どもたちは興味津々の様子でした。

最後に好きな色に塗り、思い思いの飾り付けをしたら、世界に一つだけのオリジナル勾玉が出来上がり。作品は、市民図書館に展示されました。



▲勾玉を磨く様子

地域コーディネーターの活動を紹介します！

春日中学校地域コーディネーター

三谷 久美子さん、平塚 みゆきさんにお話を伺いました

来年度で創立70周年を迎える春日中学校は、春日市で1番古い中学校です。現在、地域コーディネーターは2人体制で3代目になります。コミュニティ・スクール(CS)は平成21年度に導入し、小学校から見守り続けていただいている春日小学校、須玖小学校の保護者や、昇町、小倉、須玖南、弥生の地域の方の温かい支援を受けて、生徒たちがイキイキと活動しています。

コロナ禍であらゆる行事が中止された令和2年度。学校・家庭・地域の連携もままならない中、地域コーディネーターとして何ができるのか、先生方と相談しながら知恵を絞りました。そこで力を入れたのが、地域人材の発掘です。地域住民が講師となり生徒が多様な講座で学ぶ「かすが塾」や「職業講話」に多方面の講師を発掘し、学習を支援することができました。

その他にも、学校運営協議会やCS推進委員会のような大人の会議に生徒が積極的に参加する場面づくりや、地域行事の運営に生徒が参画できる機会の模索など、コロナ禍で一度交流が遮断しかけたからこそ、今まで以上に関わりを深めていきたいと思っています。

まだまだ地域コーディネーターという役割は広く認知されていませんが、活動を続けることで、もっと人と人をつないでいきたいと思っています。



▲職業講話



▲「かすが塾」の各講座

きらり☆春日の人

松ヶ丘アンビシャス広場
協働活動サポーター

かたしま つねお
片島 常雄さん



松ヶ丘地区にお住まいの片島さんは、平成10年から6年半、松ヶ丘地区自治会長を務め、平成17年からは「ぶどうの庭」の初代理事長に就任しました。

30年以上にわたり、春日市の地域活動を支えており、現在も、アンビシャス広場のサポートや子どもたちの登下校の見守りを続けています。

「今も昔も、子どもたちは変わらず元気をくれる存在です」と優しく話す片島さん。座右の銘は、「天知る、地知る、私知る、我知る」。「誰かの役に立つことができるなら、という思いで、何でも引き受けてきました。人の行いは、天地も周りの人もどこかで見ているものですよ」。豊かな経験に基づいて語る片島さんの言葉は、ひとつひとつがきらりと輝いていました。

夏休み チャレンジ教室

「光の不思議を体験しよう」(理科)
「ことばを楽しもう」(国語)



7月29日(土)、春日市青少年育成市民会議主催の「夏休みチャレンジ教室」が、ふれあい文化センターで開催されました。5年生14名、6年生9名が参加しました。

理科の時間は、「色はどうやって見えるのか」や「見えない光」を学び、光の万華鏡づくりにチャレンジしました。子どもたちは「すごい！きれい！」と大喜びでした。

国語の時間は、「書き順じゃんけん」や「2字熟語の連想ゲーム」をしました。ゲーム形式で、初対面の子ども同士でも仲良く学ぶことができました。来年はどんなことにチャレンジできるか、今から楽しみです。



▲ 2字熟語連想ゲームの様子



▲福岡女学院大学の学生が手伝い、様々な光の見え方を体験